

【お知らせ】弊社の取り扱うニスに含まれる成分について

弊社のインクジェット製品に使用される一部のニス（以下、ニス製品）には、ジフェニル（2,4,6-トリメチルベンゾイル）ホスフィンオキシド（以下、TPO）を含有しています。詳細は SDS（安全データシート）をご確認ください。

TPO の分類変更と法的位置づけ

- TPO は紫外線硬化型インク等の高性能で効率の高い光重合開始剤として、長年にわたり多くの業界で使用されてきましたが、欧州 および英国の CLP 規則（分類・表示・包装規則）で生殖毒性区分が「ヒトの生殖毒性の疑い（区分 2）」から「ヒト生殖毒性の推定（区分 1B）」に変更されました。この変更は 2025 年 9 月 1 日から適用され、EU 域内では製品ラベルおよび SDS への生殖毒性区分の明記が義務付けられます。
- また、生殖毒性への懸念から、TPO は、2023 年 6 月に REACH 規則（欧州化学品規制）に基づき SVHC（高懸念物質）にも指定されています。SVHC を EU 及び英国に販売する成形品中に 0.1 重量%以上含有する場合、顧客への情報提供と当局への届出が義務付けられています。一般に、ニス製品を使用した印刷物については、TPO は紫外線により分解されるため、通常、微量（0.1 重量%未満）しか残りません。弊社では測定試験でも確認しており、通常の使用環境下において上記規制に該当しません。
- 食品接触用途や医薬品用途などの製品・パッケージに使用する場合は、スイス条例およびネスレ基準を含む関連する規制の遵守が必要です。

弊社の対応

- 弊社は製品安全を最優先し、関連法規制を厳格に遵守します。上述の規制への対応を含め、各国の規制に則り必要な対応を実施しています。今後も規制動向を注視し、遵守徹底に努めます。
- 製品性能、堅牢性とともに関心されるお客様のご要望にも応えられるよう、TPO フリー品のご提供ができる体制を整えてまいります。ご不明な点は、[コニカミノルタジャパン株式会社 お客様相談室](#)までお問い合わせ下さい。

以上